

3月14日、当協会の森会長と北村副会長が、昨年（令和3年）10月の衆議院選挙で日本維新の会から初当選され遠藤良太衆議院議員と面会しました。遠藤議員は、中国留学等を経てロングライフホールディングに入社され、介護現場での業務に従事された後、中国駐在や海外事業を統括する子会社の代表取締役を歴任された、現場を知る国際経験豊かな方です。

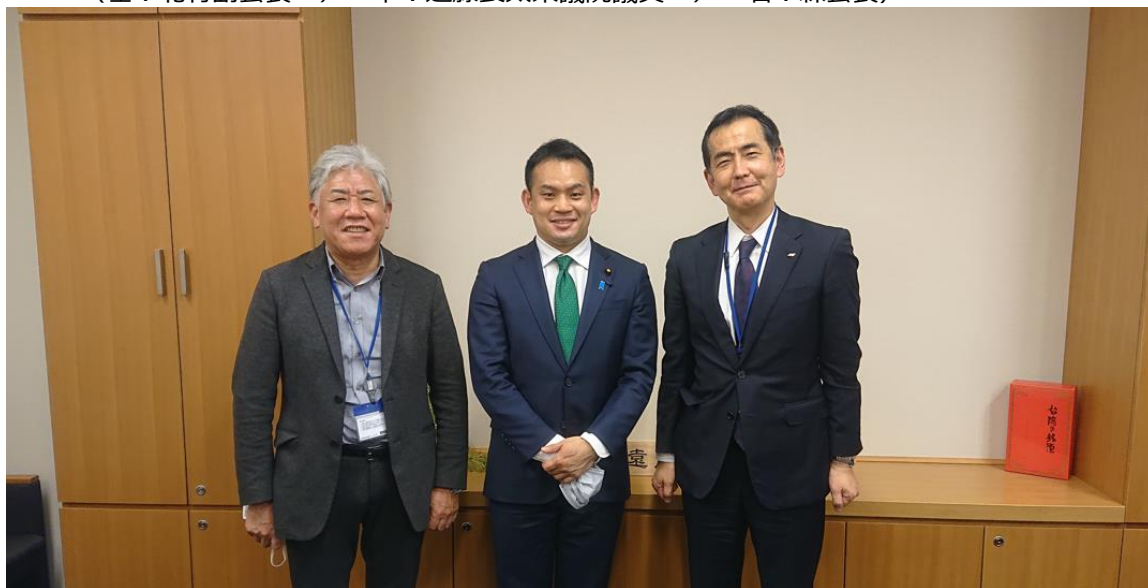
政界進出後は社会保障制度改革や成長戦略等を政策に掲げて行動され、今年2月の衆院予算委員会では1期目でありながら早々に質問に立たれるなど、目覚ましい活躍をされています。

この日は国政動向や7月の参院選の展望などについて貴重なお話を伺い、また、介護業界を取り巻く環境等についても幅広く意見交換を行いました。

とりわけ、道交法施行規則の一部改正により、安全運転管理者を配置する介護事業所で運転前後のアルコール検知が義務化された件について時間を割いて議論し、介護現場に甚大な影響を及ぼすとの認識を共有しました。

遠藤議員は介護業界の為に各方面に働きかけてくださると言明され、当協会としても今後の更なるご支援をお願いし、相互の協力関係を確認させていただきました。

（左：北村副会長 / 中：遠藤良太衆議院議員 / 右：森会長）



※写真撮影時のみマスクを外しています